

JAMCA ジヤムカ ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.54

2007年7月1日

発行
協会事務局
編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町31
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>



人命預かる仕事の自覚を持つとう

埼玉工業専門学校・校長
全国自動車大学校・整備専門学校協会監事

佐藤 孝司

会員校の学生の皆さん、いよいよ新学期が始まりましたね。新たな気持ちでしっかりと頑張ってください。

また、新入生の皆さん、入学おめでとうございます。それぞれ目標を持って入学されたことと思いますから、しっかりと頑張ってください。

若い皆さんは、精神的にも体力面でも強力であり、内在する可能性を秘めていますし、勇気と努力する心をお持ちでしょうから、自分の能力を生かすように頑張ってください。

常に百点を心掛ける

自動車をめぐって近年、飲酒運転やスピード違反など厳しく取り上げられています。皆さんも自動車に関わろうとする以上、自覚を持ってお手本となるようにしてください。

交通安全取り締まりが実施され、自動車の運転に対して厳しい指導も行われますが、それでも交通事故が減少しないのが現実です。事故が起きれば多くの人不幸になり、事故が交通渋滞を引き起こし、多くの人に迷惑がかかります。私たち自動車に関わる人間は、しっかりと整備を心掛けねばなりません。

私が常々思うことは、自動車の整備というのは人様の命を預かる仕事ですから、常に百点を取るようにならなければいけないということです。常に百点というのは難しいと思うのですが、心掛けと努力のしようによっては不可能ではないと思います。



車社会を支える整備士

私の埼玉工業専門学校では、校訓を「徳・技・知」と定めています。

「徳操を高める」

「技術を磨き」

「知識を豊かにする」

ことを教育の目的にしているのです。つまり、人間としての道徳心を高め、その上で技術を磨き、自動車整備士としての知識を様々な分野から学び豊かにすることです。皆さんも多くの人々の命を預かる自動車整備士になるわけですから、その気持ちを忘れず頑張ってもらいたいと思います。

現在、自動車社会と言われますが、その根本を支えるのは整備士です。皆さんもその一人となるのであれば、自分の仕事に責任を持って歩んでいくという気持ちを常に持ち続けるようにしてください。

皆さんは素晴らしい可能性を持っており、輝ける将来に向けてこの道を歩んでいくのですから、自動車業界の者として一つのことにとこだわらず、多くのことを学んでください。

幅広い人間性を養って

5年前から、自動車専門学校に整備士一級課程が導入されました。これまでは二級整備士が最高の課程でしたが、一級課程は今まで以上に高度な整備力を持った人材を育成するためのものです。4年課程で長い期間になりますが、できれば皆さんには、更なる技術の向上を求めてそちらの方に進まれることを期待しています。

この業界には自動車整備に限らず車体整備、カスタマイズ、サーキットレース、ラリーレースなど様々な分野があります。私の学校では学生の夢を叶えるため様々な大会に出場し、フェラーリをはじめ多くの車を導入していますが、今後もドイツ車、イタリア車、イギリス車、アメリカ車、北欧車などを購入する予定です。幅広く経験することで人間性が高まるので、そういう学び方をしてもらいたいと思います。皆さんが学業のみならず、一人の社会人としてルールとマナーを守り、社会に対する奉仕の心をもって貢献できる人物になれることを願っています。

CONTENTS

- 2面 OPINION
- 3面 我が校自慢
- 4・5面 ソーシャル検定の傾向とポイント
- 6面 協会トピックス
- 7面 一級整備士試験の結果
- 8面 私の教材活用・編集後記